

様式

提案書

平成19年9月7日

総務省情報通信政策局地上放送課 まで
御中

郵便番号 〒150-0001

(ふりがな) しげく じやん けん

東京ロケール

住所 東京都渋谷区神宮前4-3-15 表参考512

(ふりがな) かねこ がい けん じやん けん

氏名※注1 株式会社ネットロープ

電話番号

電子メールアドレス

以下のとおり、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等」に関して今後検討が必要と思われる課題について提案を提出します。(※注2)

| |
|--|
| 1 制度分野 |
| 2 技術分野 ① IP化 ② コンテンツフォーマットの共通化 ※ 詳細につきましては、別紙をご参照下さい。 |
| 3 ビジネスモデル分野 |
| 4 その他 |

注1 法人又は団体にあつては、その名称及び代表者の氏名を記載してください。

注2 該当欄のみ記入ください。記入欄が足りない場合は適宜別紙を用意ください。用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とし、別紙にはページ番号を記載してください。

「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方に関する懇談会」における
検討課題に関する提案（別紙）

平成 19 年 9 月 7 日

総務省情報通信政策局 地上放送課 御中

株式会社ネクストウェーブ

以下のとおり、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等」に関して今後検討が必要と思われる課題についてご提案申し上げます。

■ 「2 技術分野」について

①IP 化

法体系が「レイヤー構造」へ転換することを念頭に入れ、コンテンツ側から見える伝送インフラ仕様の共通化が有効ではないかと考えております。その実際の仕様としては、インターネットや最近の通信事業者で採用されている **Internet Protocol (IP)** で統一するのが自然な流れではないかと思われます。モバイル放送の IP 化をご検討いただくことを要望いたします。

また、上記の伝送インフラ仕様が IP で共通化された際には、IP データキャストのみを行う放送事業者も想定すべきと考えます。

②コンテンツフォーマットの共通化

通信と放送が統合された世界では、そこを流れるコンテンツのフォーマットは同じものとなると考えております。

現在、放送では **BML**、通信では **HTML** 等と異なったフォーマットが利用され、統合にあたって障壁となっておりますが、放送や通信の方式にとらわれない共通化されたコンテンツフォーマットでの運用こそが、大変重要だと考えております。インターネットやモバイルコンテンツで採用されているコンテンツフォーマットがモバイル向け放送においても共通して使えるような仕様検討を要望いたします。

以上